

芸術鑑賞会が新聞に掲載されました。

埼 五 新 聞

2017年(平成29年)10月21日(土曜日)

迫力の和太鼓に歓声



和太鼓に親しむと、久喜市立栗橋小学校(金子孝雄校長、児童数635人)で、和太鼓グ

ループ「彩」を招いた芸術鑑賞会が開かれた。

「彩」は東京大学の学生らで結成。「和太鼓の裾野を広げたい」と現在19人のメンバーが活動している。同市内の複数の小学校で音楽鑑賞会を開いており、来年1月13日には、久喜総合文化会館でも公演が行われる。

鑑賞会では、代表の葛西啓之さんらメンバー5人が同小を訪れて和太鼓を演奏。葛西さんは

児童と演奏を楽しむ和太鼓子グループ「彩」のメンバー久喜市立栗橋小学校

久喜 栗橋小で芸術鑑賞会

「和太鼓を見る機会は減っていると思う。和太鼓の魅力を知ってほしい」とあいさつした。

メンバーはお祭りをモチーフにした曲など、迫力のある演奏を披露。子どもたちと一緒に太鼓をたたく場面もあり、児童との掛け合いで会場は歓声に包まれた。

演奏を聞いた6年生の黒木柚良さん(12)は、「普段聞くことがない和太鼓。大きな音、ばちを振るのが速くてすごいなと思った。とても面白かった」と話していた。

(保坂直人)